



夢見るフランス絵画

印象派からエコール・ド・パリへ

2014 4.12^土 → 6.1^日



1. ポール・セザンヌ

《大きな松と赤い大地（ベルヴュ）》 1885年頃
セザンヌの生地エクス近郊ベルヴュの眺めを描いています。
大きな松の木は、セザンヌの妹夫婦が買った敷地に立っていた
もので、左側の重なって伸びる枝が、この風景の新鮮な空気の
広がりを強調しています。

阪神・淡路大震災20年展

夢見るフランス絵画

印象派からエコール・ド・パリへ

The Dream of French Paintings

From Impressionism to École de Paris

知られざるコレクション！珠玉の71点

展覧会概要

ある収集家によるフランス近代絵画のコレクションから名品71点をご紹介します。

モネ、セザンヌ、シスレーといった印象派の画家の描く**美しい大地の眺め**、ルノワールの描く**豪華な室内**とそこで**くつろぐ人物**、モディリアーニ、キスリング、藤田嗣治などエコール・ド・パリの画家たちの**哀歎に満ちた女性たち**、ヴラマンク、ユトリロらの描く**孤独な路上の風景**、ルオーの絵に見る**人生の重さ**、シャガールの絵から強くたちのぼる**人生の喜び**など、このコレクションには、今なおわたしたちがフランスに抱く夢と憧れがつまっています。

これらの作品は、さまざまな「豊かさ」でもってわたしたちを魅了する一方、描かれたものの背後にある、見えない、そして言葉にしがたい「感情」にも、わたしたちを出会わせてくれることでしょう。どうぞ、春一番の風とともに、お楽しみください。

会期等

2014年4月12日(土)～6月1日(日)

休館日：月曜日 5月5日(祝・月)は開館、5月7日(水)休館

開館時間：10:00～18:00

※金・土曜日は夜間開館(20:00まで)

※入場は閉館の30分前まで

会場：兵庫県立美術館 企画展示室

主催：兵庫県立美術館、神戸新聞社、サンテレビジョン

後援：公益財団法人伊藤文化財団、兵庫県、兵庫県教育委員会、

神戸市、神戸市教育委員会

協賛：野崎印刷紙業

本展について

本展は、ある収集家が集めた作品の中から、フランス近代の16作家による優作71点を紹介するものです。これらのうち、いくつかの作品は、展覧会に出品されたことがありますが、これほどまとまって展示されるのははじめてです。

便宜上、第1章「印象派とその周辺の画家たち」、第2章「革新的で伝統的な画家たち」、第3章「エコール・ド・パリの画家たち」の3つの章に分けて展示しますが、19世紀後半から20世紀半ばまでの美術の流れを厳密かつ綿密に追ったコレクションではありません。むしろ、明治期以来続く、フランスの芸術・文化への憧れを背景に、作品に見る喜びと寛ぎを求める収集家個人と作品との対話をこそ重視してつくられたコレクションといえます。

観覧料

一般1300(1100)円 大学生900(700)円

高校生・65歳以上650(550)円 中学生以下無料

※()内は、前売および20名以上の団体割引料金

(高校生・65歳以上は前売なし)

※障がいのある方とその介護の方1名は各当日料金の半額

(65歳以上除く)

※割引を受けられる方は、証明できるものを持参のうえ、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください。

※県美プレミアムの観覧には別途観覧料が必要ですが(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)

※前売券は3月1日(土)から4月11日(金)まで販売します。会期中は販売しません。

※主なチケット販売場所：チケットぴあ(Pコード766-067)、ローソン(Lコード52281)、セブンイレブン(セブンコード028-197)、イープラス、CNプレイガイド、サークルKサンクスほか。

展覧会内容

第1章 印象派とその周辺の画家たち

光の下にある物や人物を明るい色彩で描いた印象派の画家と、彼らが拓いた新しい表現を背景に制作をはじめた画家の作品を展示します。自然が与える美しさや感動を、モネ、シスレー、セザンヌの絵はよく示しています。また、ルノワールはモダンな(近代的な)生活における人物や舞台をよくとりあげました。マルケの風景画とボナールの人物画は、そうした印象派の側面をそれぞれ引き継いでいます。

主な出品作家

ポール・セザンヌ Paul Cézanne 1839-1906

アルフレッド・シスレー Alfred Sisley 1839-1899

クロード・モネ Claude Monet 1840-1926

ピエール＝オーギュスト・ルノワール Pierre-Auguste Renoir 1841-1919

ピエール・ボナール Pierre Bonnard 1867-1947

アルベール・マルケ Albert Marquet 1875-1947



2.ピエール＝オーギュスト・ルノワール 《ド・ガリア夫人の肖像》 1912年



3.クロード・モネ 《睡蓮のある池》 1919年

第2章 革新的で伝統的な画家たち

20世紀になって、印象派の画家たちの新しさに対する理解が深まると同時に、表現のさらなる革新を求める動きが現れます。激しい色彩で人間の情動までも描こうとするフォーヴィスムや、事物を見てそれを描くアプローチそのものに根本的に挑んだキュビスムの動きがそれです。しかし、そうした傾向からはじめた画家たちも、第一次世界大戦後には、画面に秩序を求め、伝統的な美術を参照した作品を生み出すようになります。

主な出品作家

ジョルジュ・ルオー Georges-Henri Rouault 1871-1958

モーリス・ド・ヴラマンク Maurice de Vlaminck 1876-1958

ラウル・デュフィ Raoul Dufy 1877-1953

アンドレ・ドラン André Derain 1880-1954

ラウル・デュフィ

《ニースのホテルの室内》 1928年
の画像を提供できます。

ご希望の方は、お問い合わせください。

画像使用につきましては、別途、著作権使用承諾の申請・著作権使用料が必要となります。(p.6ご参照ください)

4.ラウル・デュフィ 《ニースのホテルの室内》 1928年



5.モーリス・ド・ヴラマンク 《踏切のある風景》 1953年

第3章 エコール・ド・パリの画家たち

第一次と第二次の世界大戦の間の1920年代、30年代、パリにはヨーロッパ各地、そして日本などから多くの若い画家がやってきました。祖国喪失者としての彼らが描く哀愁に満ちた作品は、時に短かった彼らの生涯や、奇行に近い振る舞いを伝える評伝とともに、大きな人気を得ました。そうした一群の画家の代表格ともいえるユトリロ（ただし、パリ生まれ）、モディリアーニ、藤田嗣治（レオナルド・フジタ）らの作品を展示します。

主な出品作家

モーリス・ユトリロ Maurice Utrillo 1883-1955

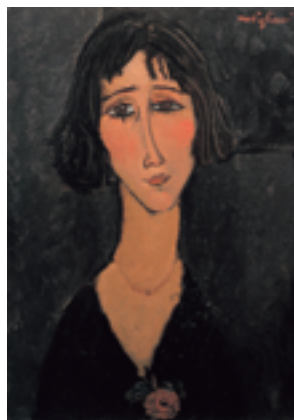
アメデオ・モディリアーニ Amedeo Modigliani 1884-1920

マリー・ローランサン Marie Laurencin 1883-1956

藤田嗣治 Léonard (Tsuguharu) Foujita 1886-1968

マルク・シャガール Marc Chagall 1887-1985

キスリング KISLING 1891-1953



6.アメデオ・モディリアーニ 《バラをつけた若い婦人》 1916年

マルク・シャガール

《青色の道化師》 1959年

の画像を提供できます。

ご希望の方は、お問い合わせください。

画像使用につきましては、別途、著作権使用承諾の申請・著作権使用料が必要となります。(p.6ご参照ください)

7.マルク・シャガール 《青色の道化師》 1959年

関連イベント

記念講演会

「フランス近代絵画の黄金時代：印象派からエコール・ド・パリへ」

講師：千足伸行（成城大学名誉教授）

5月4日（祝・日） 14:00～（約90分）

ミュージアムホールにて 聴講無料（定員250名）

学芸員による解説会

4月19日（土）、5月3日（祝・土）、5月17日（土）、5月31日（土）

16:00～（約45分）

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 11:00～（約15分）

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

こどものイベント「"アブラエ" ッテナアニ？」

5月5日（祝・月） 10:30～15:30

アトリエ2にて

要申込（4月5日より受付開始）

要参加費（定員30名、小3から中3まで）

お問い合わせ・お申込み：こどものイベント係 TEL 078-262-0908

おやこ解説会

5月24日（土） 13:00～（約30分）

レクチャールームにて 聴講無料（定員100名）

※関連イベントの詳細情報は当館ホームページをご覧ください。

同時開催の展覧会

県美プレミアム

コレクション

ノアの方舟—蒐集による作品たち

3月22日（土）～7月6日（日）

会場：兵庫県立美術館 常設展示室

横尾忠則現代美術館での同時開催

横尾探検隊 LOST IN YOKOO JUNGLE

4月12日（土）～6月29日（日）

※特別展又は、県美プレミアムの有料チケット半券のご提示で、団体割引料金でご覧いただけます。

（詳細はHPなどでご確認ください）

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

※画像番号 **4.7** の使用につきましては、別途、著作権使用承諾の申請・著作権使用料が必要となります。

使用料規程に関して

<http://www.bunka.go.jp/ejigyou/pdf/file/02017-kite.pdf>

一般社団法人 日本美術著作権協会

〒104-0061 東京都中央区銀座3丁目10番19号 美術家会館604号室

TEL: 03-6226-5951 FAX: 03-6226-5952

お問い合わせ先

兵庫県立美術館

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

代表 TEL: 078-262-0901 FAX: 078-262-0903

<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

企画内容に関すること

担当学芸員: 西田桐子・小野尚子

TEL: 078-262-0909 FAX: 078-262-0913

取材・写真提供に関すること

営業・広報グループ

TEL: 078-262-0905 FAX: 078-262-0903

交通案内

阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南に徒歩約8分

JR神戸線灘駅から南に徒歩約10分

阪急神戸線王子公園駅から南西に徒歩約20分

JR三宮駅南から神戸市バス・阪神バス「県立美術館前」下車すぐ

地下駐車場: 乗用車80台収容・有料

*ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

*団体バスでお越しの場合は、バス待機所の予約をお願いします



夢見るフランス絵画

印象派からエコール・ド・パリへ

兵庫県立美術館

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

電話 (078) 262-0905 (直通)

広報画像申込書

営業・広報グループ 宛 FAX (078) 262-0903

ご希望の画像の番号に○をつけてください。後日データ (.jpg) をお送りいたします。

番号	作家名・作品名・制作年・クレジット表記など
1	ポール・セザンヌ 《大きな松と赤い大地 (ベルヴェユ)》 1885 年頃
2	ピエール＝オーギュスト・ルノワール 《ド・ガレア夫人の肖像》 1912 年
3	クロード・モネ 《睡蓮のある池》 1919 年
4 (著作権)	ラウル・デュフィ 《ニースのホテルの室内》 1928 年
5	モーリス・ド・ヴラマンク 《踏切のある風景》 1953 年
6	アメデオ・モディリアーニ 《バラをつけた若い婦人》 1916 年
7 (著作権)	マルク・シャガール 《青色の道化師》 1959 年

※上記画像を媒体掲載される際には、記載の**作家名・作品名・制作年**などを必ず入れてください。

※画像データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできません。ご了承ください。

※画像番号 4.7 の使用につきましては、別途、**著作権使用承諾の申請・著作権使用料**が必要となります。

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
画像到着希望日			
読者・視聴者プレゼント用招待券（最大 10 組 20 名まで 本展を媒体でご紹介いただける場合に限りです）	組	名分希望	

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体 (VTR/DVD)、URL など
を、上記営業・広報宛にお送りくださいますようお願いいたします。

※本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたし
ます。